

平成26年度 施策評価シート

作成日 平成 26 年 11 月 25 日

1 施策の概要

施策名 (節の名称)	No. 55 広域行政の推進				
部章節No.	第6部 第2章 第4節	評価担当部	総務部	関連部局	-
総合計画書掲載頁	190 頁	記載責任者	吉川進		
総合計画 体 系	まちづくりの目標【部】	確かな未来を拓く協働のまちづくり			
	施策の分類【章】	新しい時代に向けた行政の推進			
施策の目的 (基本方針)	住民の生活圏域の拡大に対応し、広域的な行政運営・行政サービスの実施が望ましい事業について、他の市町村との協力・連携をはかりながら、広域行政の推進につとめます。				

2 施策を取り巻く環境

施策の現状	神奈川県や近隣自治体で構成する各種連絡会等（広域行政連絡会、県央相模川サミット、厚木愛甲まちづくり研究会など）を活用し、環境、観光振興、消防、交通、医療など各分野における課題解決のため連携・協力を進めている。 ≪主な取組事例≫ ●航空写真撮影の共同化●行政情報システムの共同化（住民票、納税証明書出力など）●ごみ処理の共同化●小田急多摩線延伸の検討など
法令・制度 の変更	
施策の課題	町民の圏域の拡大、地方分権の進展、少子高齢化、人口減少、自治体の財政難等が進む一方で、多種多様な住民要望がある今日、広域行政は重要であり、より一層県や近隣市町村との連携強化を図る必要がある。引き続き、各連絡会等が形骸化することなく、実効性のある組織としていく。

3 施策の成果指標（基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。）

住民満足度	指標（単位）	総合計画 策定時		中間値 （26年度）		目標値 28年度		達成度
	『広域行政の推進』について「満足」と 感じる住民の割合	33.0 %		33.3 %		38.0 %		B
主 な 目標指標	指標（単位）	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
								—
								—
								—

4 施策の活動指標（「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。）

主 な 活動指標	指標（単位）	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	広域行政連絡会会議回数（回） （総会、幹事会、担当者会議）	増	4	4	4	4	4	A
	各種要望回数（回） （町村会要望、政党要望、広域連絡会要望）	増	3	3	3	3	3	A
								—

5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	広域行政の推進	A			
2	市町村合併等の研究	—			

6 総合評価

成果指標評価	B	活動指標評価	A	進捗状況調査結果	A
--------	---	--------	---	----------	---

総合評価

A
(自動判定)

➡ 良好と認められる施策です。

総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点から踏まえて分析してください。）

県内14町村による行政情報システム（住民票、納税証明書出力など）の共同運用や、小田急多摩線の延伸促進を図るため、相模原市・厚木市・愛川町・清川村で連絡会を組織し、調査研究及び関係機関への要望活動を行うほか、平成26年度から航空写真の共同撮影など広域化を進めているが、行政内部の事務手続きの広域化が多く、「住民満足度」が伸び悩んだものと推測するところである。

7 今後の方向性

方向性	☒ 現状維持 ☐ 一部見直し ☐ 大幅な見直し ☐ 新たな取り組みや事業を追加 ☐ その他
改善案などの内容	連絡会等の活用により、県をはじめ近隣自治体との横断的な取り組みを更に強化していく必要がある。なお、市町村合併等の研究については、平成27年1月に実施する町民意識調査アンケートの結果を注視する。

8 庁内行政評価委員会コメント

※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	所管部の方向性のとおり
--------	-------------

9 総合計画の進捗状況調査における取組の方向性の評価（事務事業の評価）

[illegible]